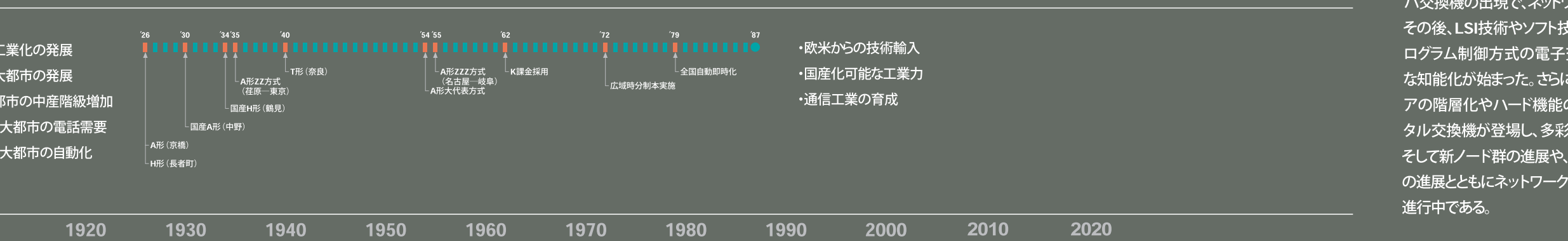
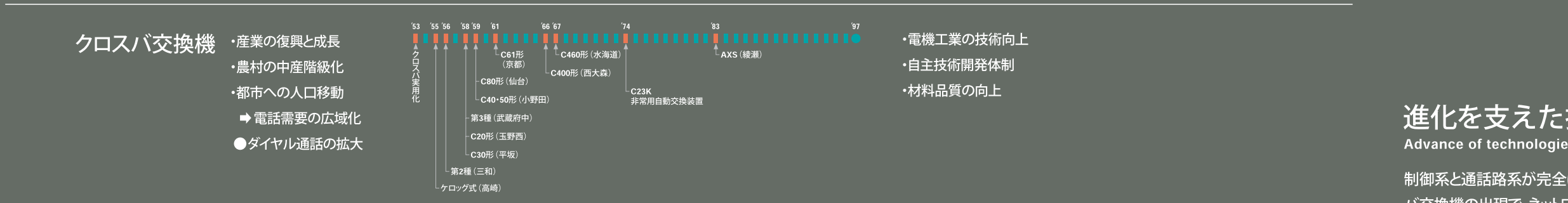
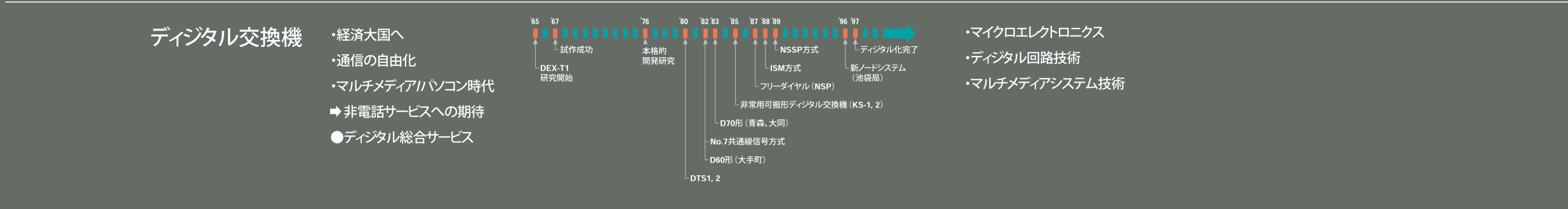
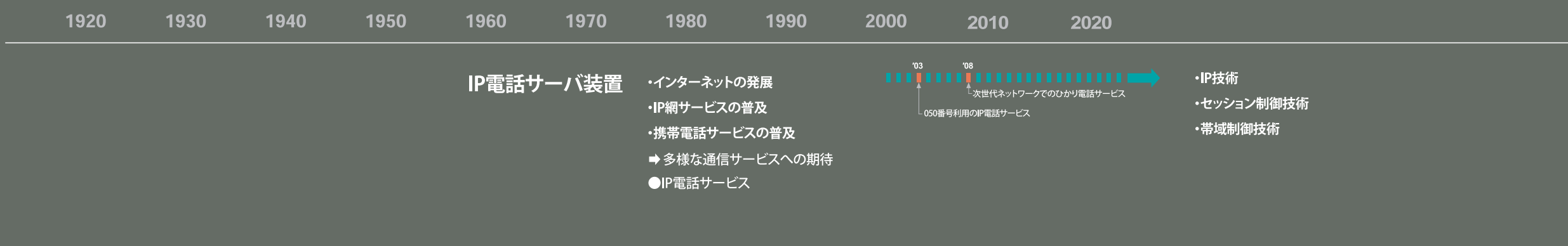


社会のニーズを受け止めて

Responding to demands of society

20世紀の前半、工業化の進行で増大する都市部の電話需要に添えて、ステップ バイ ステップ式交換機が導入された。電話の普及で高まった広域自動即時化を求める声には、クロスバ交換機が応えた。便利な高度電話サービスを実現したのは、プロセッサ制御の電子交換機。電話が個人単位で普及、データ通信や移動通信が発展する段階で、デジタル交換機は、巨大で柔軟な統合ネットワークの要となった。



進化を支えた技術の歩み

Advance of technologies that supported evolution

制御系と通話路系が完全に分離した共通制御式クロスバ交換機の出現で、ネットワークの知能化は始まった。その後、LSI技術やソフト技術の発展により、ストアードプログラム制御方式の電子交換機が実用化され、本格的な知能化が始まった。さらにVLSI技術の進歩とソフトウェアの階層化やハード機能のモジュール化が進んでデジタル交換機が登場し、多彩なノードの展開につながった。そして新ノード群の進展や、その後のIP電話サーバ装置群の進展とともにネットワークの知能化は、さらに加速しつつ進行中である。